



殿

仕様書

仕様書No. NWSP26-5163E-01A

環境対応 PoE/PoE+/PoE++Type3・Type4給電
All Gigaインテリジェント光SW-HUB
DN5163E (Rev:A)

2026年 7月

1. 適用範囲

本仕様書は環境対応 PoE/PoE+/PoE++Type3・Type4 All Giga インテリジェント光 SW-HUB (DN5163E) について規定します。

本仕様に関しては改良等の理由で変更する可能性があります。

2. 機能概要

本装置は 10/100/1000BASE-T のメタルインターフェイスを 4 ポート、1000BASE-X の SFP インターフェイスを 2 ポート持つ、パワー・オーバー・イーサネット (PoE/PoE+/POE++Type3・Type4) のエンドスパン方式給電能力を有する、インテリジェント光 SW-HUB です。

電源を入力することで SW-HUB の給電対応メタルポートから PoE/PoE+/PoE++Type3・Type4 対応のアクセスポイントやIPカメラ等のPD装置に電源を給電することが可能になります。

3. 品名及び型番

品名と型番は次の通りとします。

品名・型番	定格入力電圧	給電容量
環境対応 PoE/PoE+/PoE++Type3・4 給電 All Gigaインテリジェント 光SW-HUB DN5163E	PoE+/PoE++使用時:DC55V PoE使用時:DC48/55V PoE未使用時:DC12/24/48/55V	180W

4. 機能概要

DN5163Eは以下の機能を備えるものとします。

給電機能	TPポートはUTPケーブルを使用してPoE/PoE+/PoE++Type3・Type4対応機器に対して給電可能です。※1 また、PoEオートリブート機能により、接続されたPoE-PD機器のフリーズを検知し、PoE出力のoff/on制御にてPoE-PD機器をリブートさせることで自動復旧を試みることが可能です。
集線機能	1000BASE-X(SFP)専用ポート、及び10/100/1000BASE-T自動切替ポートを備えます。
スイッチ機能	レイヤ2のスイッチングにより、各ポート間でデータ伝送を行います。
フロー制御	全二重時はIEEE802.3xをサポートします。(半二重時はコリジョンベースのバックプレッシャーとなります)
回線復旧機能	MSTPにより、VLAN毎にTopologyを変えることが可能で光回線断や伝送機器故障時にループ化された健全伝送回線へ切替えることにより通信経路を形成します。 (IEEE 802.1D/IEEE 802.1w/IEEE 802.1s) なお、MSTP多段接続モード時には最大254台のループ構成が可能です。※2 MRP Mode時の復旧時間は200msec以内となります。 (他社製混在時:50台/大電製のみ:250台まで)※3
ヘルスチェック機能	IPアドレスを持ち、Pingの応答を返します。また、Ping送信も可能で、Unicast Flooding防止機能を実現でき、Ping監視も可能です。
IPマルチキャスト対応	IGMP Snooping により、IP マルチキャストパケットをフィルタリングします。IGMP Snooping (V1,V2,V3) 対応です。※4 最大 255 エントリのマルチキャスト設定可能・ダイナミックにグループアドレス学習可能です。また、特定のポートにマルチキャストを送信しない等の Static 設定も可能です。
管理機能	SNMP (Ver1,Ver2c,Ver3 MIB-II,Private MIB)をサポートします。
VLAN機能	ポート VLAN、タグ VLAN (IEEE802.1Q)、マルチプル VLAN を設定可能です。通常 VLAN 数最大 255 グループ(Default VLAN 含む)、マルチプル VLAN 数最大 9 グループ(Default VLAN 含む)です。(通常 VLAN とマルチプル VLAN の併用は不可)
QoS対応	ポート毎に 8 段階の優先度を設定可能で、イーグレス側で優先制御を行います。優先度低/高の重み付けは 33:25:17:12:6:3:2:1 で固定です。IEEE802.1p ユーザープライオリティタグ、MAC アドレスにも対応しています。ストリクトモード、8 段階のマッピングにて設定可能です。
ストームコントロール機能	ブロードキャスト、マルチキャスト、ユニキャスト、および、該当ポートの全トラフィックについてトラフィックの統計情報をモニタし、その測定値が設定された閾値を超えると該当ポートを一定期間リンクダウンさせることにより、ネットワークのパフォーマンス低下を抑制します。

自局宛フィルタ機能	自局宛のパケットの IP アドレス、MAC アドレスを精査し、登録アドレスと一致しないパケットを破棄する機能です。IP アドレス、MAC アドレスでそれぞれ最大 50 エントリです。
アドレス学習機能	MAC アドレスはダイナミックに学習可能です。最大 16k エントリ設定可能。エージング時間設定可能です。デフォルト 300sec です。
HOLブロッキング防止機能	HOL ブロッキング防止機能の有効設定で動作します。
LLDP機能	LLDP(Link Layer Discovery Protocol) は、ネットワークトポロジとネットワーク上の機器に関する情報のディスカバリを行うためのプロトコルです。隣接機器のシャーシ/ポートの識別情報、システム情報を相互に通知し合い、情報を保持することによりネットワーク上の機器情報の維持と管理が容易になり、トラブルシューティングを簡素化することが可能です。
syslog送出機能	syslogクライアントとして動作し、一定の条件が発生した時にそのログをsyslogサーバに送信するように設定することで、システムの状態をsyslogサーバで管理することができます。本装置ではsyslogクライアント機能を実装します。
ファイル転送機能	FTP サーバ機能にてコンフィグファイルを転送することによりコンソールで設定可能な項目の一括設定が可能です。設定ファイル/ログファイルをダウンロードすることが可能。プログラムファイルを転送することによりプログラムの書き換えが可能です。
ミラーリング機能	特定のポートを通過するトラフィックをあらかじめ指定したポートへコピーできます。特定のポートは送信/送受信の方向指示が可能です。1 ポートのみ指定となります。
ポートランキング (リンクアグリゲーション)機能	複数の物理リンクを 1 本に束ねることで伝送路の冗長性を高め、スイッチ間のリンクで負荷分散することにより冗長リンクの帯域を活用することが可能です。(2～4Port 迄対応可、最大43グループ対応可、Load Balance あり/なし設定可)
ポートリダundant機能	2 つのポートのうち一方を Primary、もう一方を Backup としてペアを作り、一方のリンクダウンを検知してアクティブポートを切替えることで、STP や MRP といった特定のプロトコルに依存しないネットワークの冗長化を実現することが可能です。
ログイン機能	リモートからは Telnet にて、ターミナルからはコンソール(RS-232C)/I/F 経由にて装置パラメータ設定/表示が可能です。最大 3 ユーザ(Super User Mode は 1 ユーザ、User Mode は最大 2 ユーザまでアクセス可能)、ユーザ最大登録数は 8 ユーザです。いずれもパスワード設定にてアクセス制限を実現しています。
SFP監視機能	Private MIB で SFP の状態(温度、発光レベル、受光レベル、電圧、バイアス電流等)読込が可能です。SFP の実装/未実装及び SFP 内温度・電圧・発光レベル・Bias 電流値が Default で持っているしきい値を超えたら Trap 送出が可能です。※5
SFP通信禁止機能	指定 SFP ベンダ名以外の SFP が挿入された場合、その SFP の通信機能を停止する機能です。
SNTP機能	NTP は時刻情報サーバを階層的に構成し、情報を交換して時刻を同期するプロトコルであり、SNTP は NTP の仕様のうち複雑な部分を省略し、クライアントがサーバに正確な時刻を問い合わせる用途に特化したプロトコルです。SNTPv4 に対応した SNTP クライアント機能を実装しており、RFC4330 に準拠している NTP サーバに対して、現在時刻を取得することが可能です。
ログ機能	状態遷移を内部揮発領域に履歴情報として自動記録します。最大記録件数は 3000 件で任意に消去可能です。記録対象となる事象は設定変更情報 / 警報情報 / 起動情報です。また、システムエラーログは ROM 保存され最大記録件数は 25 件までです。
外部光SW制御機能	前面のコネクタ(Terminal)に外部光 SW を接続することで本製品と連動させることが可能です。
Jumboフレーム対応	イーサネット 1518byte より大きなフレーム(10240byte)をサポートしており、効率的なデータ伝送が可能です。
外部記憶装置対応(MMC)	外部記憶用カードに保存されたファームウェアや設定ファイルで起動させることで、メンテナンスや機種交換作業を容易に行うことが可能です。また本体のログ情報をリアルタイムでコピーすることができます。メモリ容量 32GByte(SDHC)まで対応しています。
ファンレス対応	ファンレスにて耐環境性能を高めており、長期使用時にも安定して使用可能です。
防湿コーティング	基板表面に防湿コーティングを施していますので ESD やガスの影響を受けにくくなっています。
DINレール対応	背面の DIN レール固定板にて、DIN レールへの取付けが可能です。
ソフトウェアチェック機能	ソフトウェアファイル受信時に機種情報を照合することで、不正な機種のソフトウェアでの起動を防ぎます。
ハードウェアチェック機能	装置起動時に一部のハードウェアアクセスを確認します。

※1: 給電機能の使用有無・使用する給電規格によって、装置入力電圧が異なりますので、使用する給電規格に応じた電圧を装置に入力して下さい。給電容量は4ポート合計して最大180Wとなります。

PoE++Type3・4: 使用時54.5V～57V

PoE+使用時: DC52.5V～57V

PoE使用時: DC46V～57V

※2: 多段接続モード時はループ上のルートブリッジ以外のブリッジは当社製品を組み合わせして下さい。

※3: MRPリングポートに設定できるポートは2ポートまでと制約があります。

1000BASE-TでリンクアップしたポートをMRPリングポートに設定した場合、モード設定によらず、数百msecの回線復旧時間となることがあります。

※4: IGMPv3にて送信元アドレスについての指定があっても、IGMPv2までと同様に指定の送信元アドレス外のマルチキャストについても転送を行います。

※5: DMI機能付のSFPを使用した場合のみ対応します。

5. 仕様

光ポート (OPT)	ポート数	2
	準拠規格(※1)	IEEE802.3z 1000BASE-X
	伝送速度	1000Mbps
	伝送方式	全二重方式
	伝送符号	NRZI符号 / 8B10B符号
	適合I/F	SFP MSA (※1)
メタル ポート	ポート数	4
	準拠規格	10M :IEEE802.3i 10BASE-T 100M :IEEE802.3u 100BASE-TX 1000M :IEEE802.3ab 1000BASE-T
	伝送速度	10Mbps / 100Mbps / 1000Mbps
	伝送方式	全二重 / 半二重 (CSMA/CD方式) (※2)
	伝送符号	10M :マンチェスタ符号 100M :MLT-3符号 1000M :PAM5符号
	適合ケーブル	UTP Cat5e以上(1000M時) / Cat5以上(10M/100M時)
	適合コネクタ	RJ-45コネクタ
	MDI/MDIX配列	Auto MDI-X / MDIX 固定 (選択)
	ケーブル長	最大100m
Power over Ethernet	準拠規格	IEEE802.3af/IEEE802.3at/IEEE802.3bt Type3 /IEEE802.3bt Type4
	最大供給電力	180W (※3)
	電源給電ピン	IEEE802.3af / at時: Alternative A (1, 2-3, 6) IEEE802.3bt Type3・Type4時: 全対給電
光SW制御 ポート	出力仕様	電源ON: Short / 電源OFF: Open
	適用ケーブル	導体サイズ: AWG26~AWG22 (単線: $\phi 0.4\text{mm} \sim \phi 0.65\text{mm}$, 撚り線: $0.13\text{mm}^2 \sim 0.32\text{mm}^2$)
スイッチ 機能	スイッチレイヤ	レイヤ2
	スイッチング方式	ストア・アンド・フォワード (最大2Gbps×6)
	スイッチング容量	12.0Gbps
	転送レート	最大8,928,000 pps
	バッファ容量	2Mbit
	MACアドレス	最大 16k エントリ / エージング時間 5 分(デフォルト)
	HOLブロッキング防止機能	HOL ブロッキング防止機能有効設定にて動作
	最大フレーム長	10240byte (Jumbo フレーム対応)
LED 表示	POWER	電源供給時に点灯(緑)
	STATUS	FlashROM書き込み時点灯(緑) / PoEコントローラ I2Cリセット時点滅(緑)
	Card	Firm&Cfg設定時に点滅(緑) Cfg設定時に点灯(緑) Card電源Off時に消灯
	OPT1、OPT2 (光ポート)	光ポート リンク確立時に点灯 / データ送受信時に点滅(緑)
	TP1~4 左側 (メタルポート)	1000M リンク確立時点灯 / データ送受信時高速点滅(緑) 100M リンク確立時点灯 / データ送受信時高速点滅(橙) 10M リンク確立時消灯 / データ送受信時高速点滅(橙)
	TP1~4 右側 (メタルポート)	全二重でリンク確立時点灯(緑) 半二重でリンク確立時点灯(橙)
	PoE1~4(PoE++)	PoE++Type3/ PoE++Type4 給電時に点灯(緑) PoE/PoE+給電時に低速点滅(緑) 無給電時に消灯
設定	Reset設定	プッシュボタン: Reset状態(押)
	MMCモード設定(※4)	上段時: MMCのFirmwareとConfig Fileを本体にコピーして起動 中段時: MMCのConfig Fileを本体にコピーして起動 下段時: MMC電源オフ
環境 条件	性能保証温度	-20℃ ~ 55℃
	動作保証温度	-20℃ ~ 60℃
	動作及び保存湿度	95%RH以下 (但し、結露なきこと)
	保存温度	-30℃ ~ 65℃
構造	外形寸法	W42.5mm×H141mm×D130mm (突起部除く)
	質量	650g 以下

電 定 源 格	PoE 使用時	定格入力電圧	DC48/55V
		電圧範囲	DC46V ~ DC57V (リップル含む)
		消費電力	82W 以下(Typ 77W) (＊)
	PoE+ 使用時	定格入力電圧	DC55V
		電圧範囲	DC52.5V ~ DC57V (リップル含む)
		消費電力	140W以下(Typ 135W) (＊)
	PoE++ Type3・4 使用時	定格入力電圧	DC55V
		電圧範囲	DC54.5V ~ DC57V (リップル含む)
		消費電力	200W以下(Typ 195W) (＊)
	PoE 未使用時	定格入力電圧	DC12/24/48V/55V
		電圧範囲	DC10.2V ~ DC57V(リップル含む)
		消費電力	15W以下(Typ 10W) (＊)
付属品		端子台ブロック(フェニックスコンタクト社製:1777989)	
電源入力コネクタ		コネクタ式端子台(ねじ接続式, ロック付き) 適用電線サイズ:0.75mm ² (AWG18)~3.5mm ² (AWG12)	
ケース材質		アルミ(黒色アルマイト処理)	
放射ノイズ規格		VCCI-Class A	
イミュニティ特性		CISPR35準拠(※5)	
環境特性		RoHS2対応(※6)	

注) 動作保証温度時: * 印部に関しては仕様値内に収まらない可能性があります。

※1: DMI機能付を使用するとSFPの状態監視が可能です。

使用するSFPによっては、準拠する規格がシグナリングのみとなる場合があります。

※2: 動作速度が10Mbpsもしくは100Mbpsの時のみ全二重方式および半二重方式をサポートします。
1000Mbpsで動作しているときは全二重方式となります。

※3: 各メタルポートの供給電力の合計になります。組み合わせは以下になります。

PoE++Type4: 最大2 ポートまで

PoE++Type3: 最大3 ポートまで

PoEもしくはPoE+: 全 ポート可

PoE++Type4/ PoE++Type3、PoEもしくはPoE+混在:

PoE++Type4: 1ポート/ PoE++Type3: 1ポート / PoE+: 1ポートまで

PoE++Type4: 1ポート/ PoE++Type3: 1ポート / PoE : 2ポートまで

PoE++Type4: 1ポート/ PoEもしくはPoE+3 ポートまで

PoE++Type3/ PoEもしくはPoE+混在:

PoE++Type3: 2ポート/ PoEもしくはPoE+: 2 ポートまで

PoE++Type3: 1ポート/ PoEもしくはPoE+: 3 ポートまで

上記組み合わせを超えて電力を供給することはできません。(機器側で自動制御しています。)

ソフトウェアからも設定は可能ですが、機器側自動制御が優先して動作します。

給電中に設定変更はできません。設定変更は給電OFF(PD機器未接続)時のみ可能です。

なお、供給情報は保存していませんので、一度電源ON/OFFを実施すると元通りの構成にならない可能性があります。

LLDPを用いたPoE電力ネゴシエーションには対応していません。接続した場合、必要な電力が供給されず、正常に動作しないことがあります。事前に検証機サービスなどを利用し、相互接続性をご確認のうえでご使用ください。

※4: Firmwareは本体よりMMC内のバージョンが大きい時のみコピーします。

Config Fileは本体の装置設定ファイル保存領域に空きがある時のみコピーします。

MMCを挿抜するときは必ず電源オフ設定にしてください。

※5: CISPR35は情報技術装置のイミュニティ特性に関する限度値と測定方法を規定しています。

静電気・放射性無線周波数電磁界・電氣的ファストランジェントバースト・サージ・無線周波数コモンモード・電圧ディップ瞬停・商用周波数磁界に対しての耐力を規定しています。

※6: 表1に示す化学物質について下記の通り管理致します。

表 1 RoHS2 規制物質及び閾値の概要

化学物質群名	用途または対象	閾値(質量比)
カドミウム及びその化合物	包装材以外(※7)	100ppm
鉛及びその化合物(※8)	下記以外(※7)	1000ppm
	鋼材	3500ppm
	アルミニウム合金	4000ppm
	銅合金	40000ppm
水銀及びその化合物	包装材以外(※7)	1000ppm
六価クロム化合物	包装材以外(※7)	1000ppm
ポリ臭素化ビフェニル類(PBB)	全て	1000ppm
ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE)	全て	1000ppm
フタル酸ジニエチルヘキシル類(DEHP)	全て	1000ppm
フタル酸ブチルベンジル類(BBP)	全て	1000ppm
フタル酸ジブチル類(DBP)	全て	1000ppm
フタル酸ジイソブチル類(DIBP)	全て	1000ppm

※7: 包装材は、カドミウム・鉛・水銀・六価クロムの4重金属を合わせて100ppm以下です。

※8: 電子部品中の内部接続用高融点半田、電子部品中のガラス、電子セラミックス部品などに含まれる鉛は対象外です。

表. コンソールポート設定

	コンソール用
信号電圧レベル	RS-232C
外部接続信号種類	TXD・RXD
通信速度	9600 bps
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

表. コンソールポートピン配置

ピン番号	コンソール用		備考
	信号名	方向	
1	NC	—	
2	7ピンと結線		
3	TxD	出力	RS-232C レベル
4	GND	—	
5	NC	—	
6	RxD	入力	RS-232C レベル
7	2ピンと結線		
8	NC	—	
コネクタ	RJ-45		

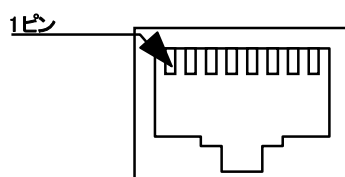


図 コンソールポートピン配置

6. 表示及び包装

(1) 前面パネルシール

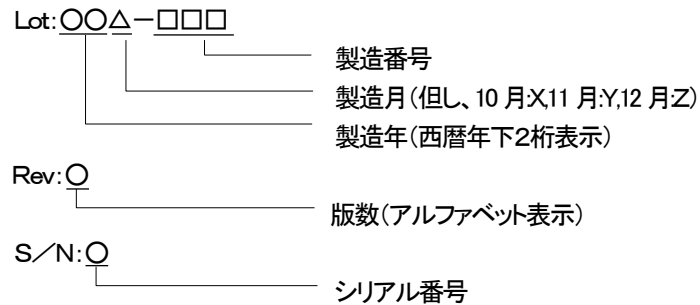
本体には前面パネルシールを貼付けます。
表示位置は外観寸法図を参照下さい。

(2) 型番シール及びロットシール

型番シールには型番を表示します。

ロットシールには、警告内容、VCCI表示、ロットNo、製造社名、MACアドレス、定格入力電圧を表示します。

【ロットNo.表示内容の説明】



(3) 包装

製品本体、付属品を個装段ボール(内箱)に包装し、個装段ボールは運搬中損傷しないよう適切な段ボールに包装します。

(4) 包装への表示

内箱には、型番、製造社名及び製品のロット番号を表示した内箱シールを貼付けます。

7. 保証

(保証内容)

保証期間内に設計製作上の不備により破損又は故障が発生した場合は、無償で交換を行うものとします。

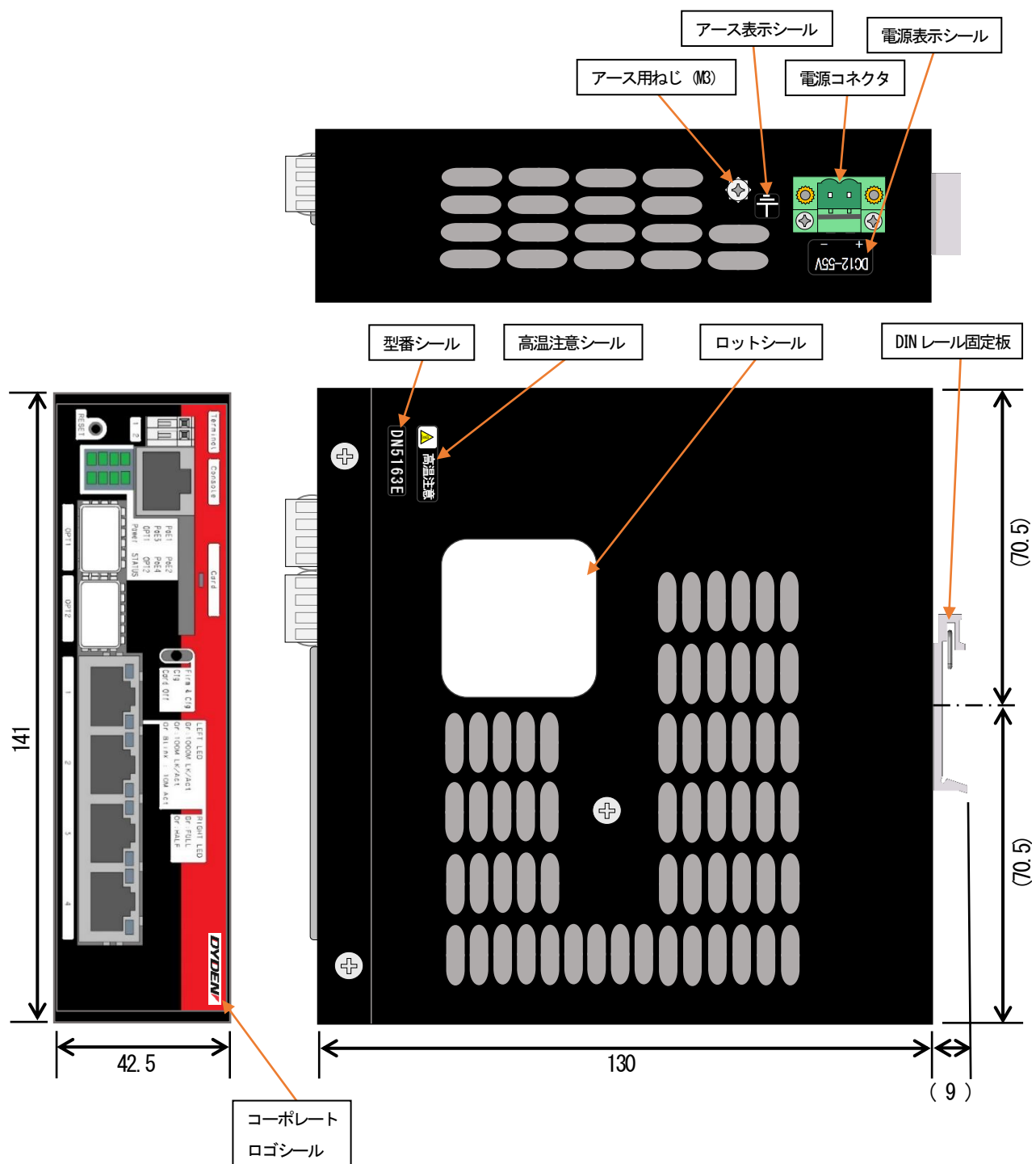
(保証期間)

当社出荷日起算から6年間

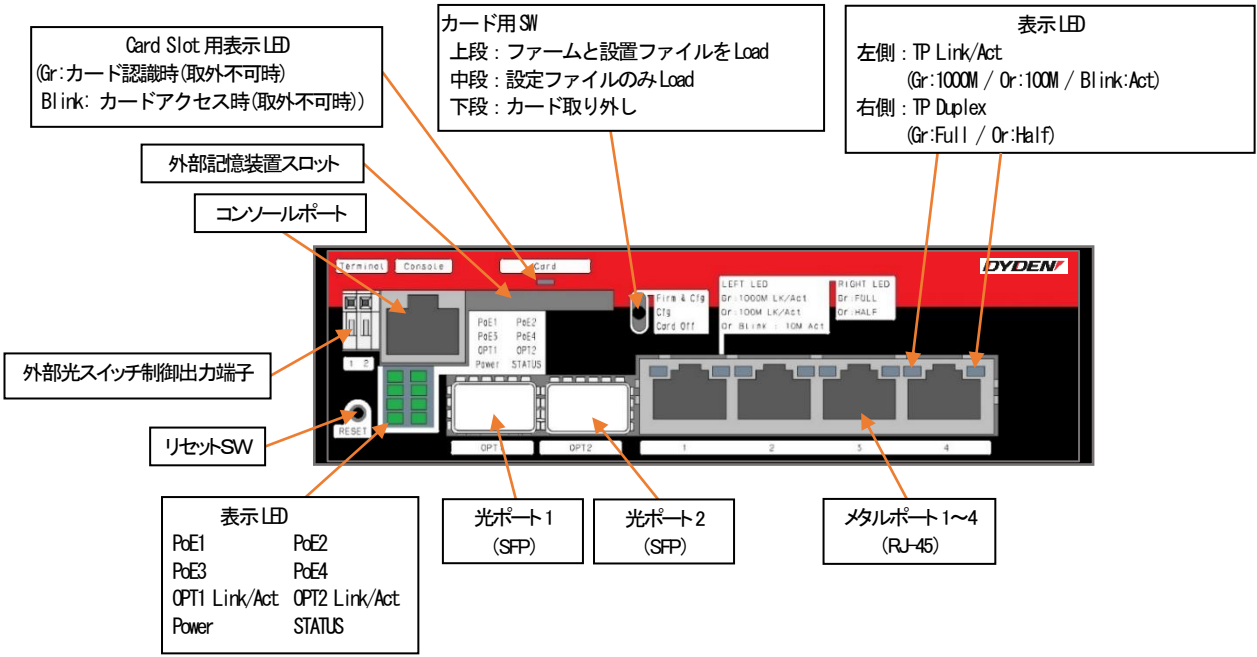
8. 外観及び寸法

【外観図】

[単位 : mm]

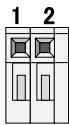


<前面>



【外部光 SW 制御コネクタ (Terminal) ピン配置】

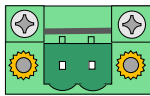
(上面側)



(下面側)

Terminal 端子番号	出力
1	Open / Short
2	

【電源コネクタ ピン配置】

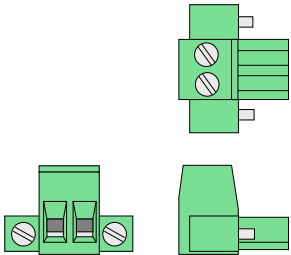


1 2

端子番号	名称・極性	電圧
1	V+	DC12/24/48/55V
2	V-	

【電源端子台ブロック (付属品)】

フェニックスコンタクト社製: 1777989



以上

【参考】シール表示

(1) 型番シール、高温注意シール、コーポレートロゴシール及びロットシール 表示例)

DN5163E

型番シール



高温注意シール

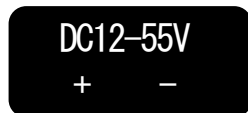


コーポレートロゴシール

 警告	
クラス1レーザ製品 必ずアース接続を行って下さい。	
この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講じるよう要求されることがあります。	
VCCI-A	
定格入力電圧：DC12V-55V	
定格入力電圧 (PoE使用時)：DC48V/55V	
PoE供給電力最大：180W	
MAC 00:03:3C:A2:A4:80	
Lot:257-001 Rev:A S/N: 1	
製造社 大電株式会社 DYDEN	

ロットシール

(2) その他シール 表示例)



電源表示シール



アース表示シール

(3) 個装シール 表示例)



内箱シール(DN5163E)

改版履歴

2026 年 7 月 14 日

版数	日付	改版内容
NWSP26-5163E-01	2026 年 4 月	・初版
NWSP26-5163E-01A	2026 年 7 月	・LLDP を用いた PoE 電力ネゴシエーション機器との接続性に関する注記追加